ファイナルファイト OF MEGA-CD（仮）
MEGA-CDの台風の目となるか!?

セガ／12月発売予定／価格未定／ACT／CD-ROM

完成度ゲージ 30% ?人プレイ

SFCでは割愛されてしまった部分も、MEGA-CDではバッチリ健在。ファイナルファイトファンの諸君、狂喜乱舞しなさい!!

年末発売に向け着々と開発進行中!!

MEGA-CDの超目玉ソフト、ファイナルファイトの続報が入ったので早速報告するぞ。

前回で紹介したMEGA-CD版の画面写真はキャラが少なくて少々寂しかったけど、今回はご覧のとおりかなり賑やかになったぞ。注目してほしいのは、敵キャラが４人もいるってことだ。ＳＦＣ版では３人までしか登場しなかっただけに、この差は大きいよね。

また、心配されていた画面のほうも、このとーり納得のいく仕上がりだ。完璧な移植を望んでいる人も、これなら文句はないだろう。ウワサのオリジナル面も、けっこう良さそうだぞ。



地下プロレス面もバッチリ移植!!

おおっ！これが噂のオリジナル面か？　タイムトライアルモードらしいがはたして？





おなじみのキャラ選択画面も完成したぞ。画面の雰囲気もバッチリ移植されてるぜ。

キャラクターに命を吹き込む!!

先月より、はるかにできあがったゲーム画面。グラフィックやサウンドデータはすべて業務用基板からの吸い出しなので、完璧だぞ。気合いの入れ方がハンパじゃないのがうかがえるぜ。こりゃ、完成も近い？



コーディーだ

先月は見れなかったコーディーもちゃんとできたぞ。ファンのみなさん、ご安心。

注目



敵が4人もいる!

これはステージ２の地下鉄駅構内付近だが、敵キャラが４人いるのに注目していただきたい。MEGA-CD版はＳＦＣ版を超えるデキだぜ！

ハガーも



ハガーだって豪快に動いてくれるぞ。ああ、はやく遊びたいぜ。

※画面はすべて開発中のものです。

『BEEP! メガドライブ』1992年10月号掲載

セガ／2月26日発売予定／価格未定／ACT／CD-ROM

完成度ゲージ 60% 2人同時プレイあり

ファイナルファイトCD

ピヨる前にやっぱやらねばっ！

なかなか続報の入らなかった「ファイナルファイトＣＤ」だけど、今回は２人同時プレイをはじめ新着画面満載だ。喜べ！

2人同時プレイも可能になって文句なしの超完璧移植中!!

燃えるぜ2人プレイ

まずは左のキャラ選択画面に注目。１Ｐ、２Ｐのカーソルが見える。２Ｐ同時プレイ、途中参加もバッチリ再現。





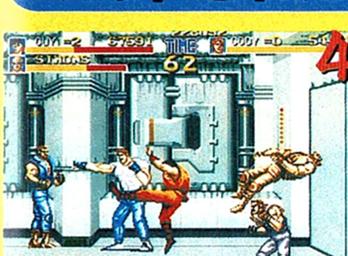


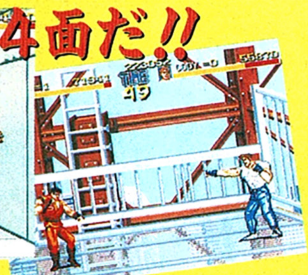
新ビジュアルも入った！



左は１面のボス、ダムド。そして上の画面は３面のイベント、アンドレファミリーとの金網デスマッチシーン。２人プレイで攻撃しまくれるのが感動的だぜ。ちなみに右上の写真はMEGA-CDオリジナルのオープニングだ。

カットされたシーンも見事に再現!!







発売がちょっと延びてファンをヤキモキさせている「ファイナルファイトＣＤ」だが、ほ～れこのとおり制作は順調（？）に進んでいるぞ。家庭用ゲーム機で初めて再現される２人同時プレイはおろか、上のようにアーケード版にもなかったMEGA-CDならではの新オープニングビジュアルも入ってくるのだ。

もちろん、SFC版では省略されていた数々の演出も、ちゃ～んとアーケード版に忠実に移植している最中だ。４面のエレベータ面や、３ステージのつながりでアンドレに仲間が連れさられるシーンなど、どこをとっても移植度は完璧だ！ ちなみに現在はアイテム配置やゲージ部の調整段階とのこと。ユーザー諸君、ピヨる前にこいつはやらねばならんぞ！

※画面はすべて開発中のものです。

『BEEP! メガドライブ』1993 年 1 月号掲載

ファイナルファイトCD
遊星バージョンで徹底チェーック!!

セガ／2月26日発売予定／価格未定／ACT／CD-ROM

完成度ゲージ 70%　2人同時プレイあり

遊星セガワールドでは、ついに動いている「ファイナルファイトCD」が登場。今月は遊星バージョンで徹底検証してみるぞ。

徹底検証!! MEGA-CD版 ファイナルファイトCD!!



さあ、ゲームスタートだ。MEGA-CD版はご覧のとおり、アーケード版とまったく同じ演出だぞ。

家庭用機初の2人同時プレイも見事に再現されているぞ。心配するな。

タイトル発表以来、長らくメガドラユーザーを待たせていた「ファイナルファイトCD」だが、12月6日の遊星セガワールドでは、ついに動いている画面が見れたのだ。当日展示されたサンプルには、オープニングデモもちゃんと入ってプレイもできたので、モニターの前にはかなり人だかりができていたぞ。

ちなみに今回のサンプルは2面までしか入っておらず、アクション部分も調整中という状態だ。またウワサのタイムトライアル対戦モードや効果音もまだ入ってはいない。

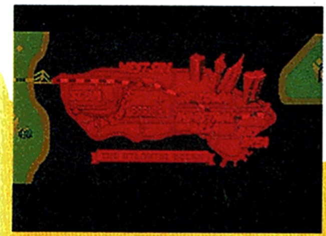
というわけで、とりあえず今回は現在の遊星版サンプルを徹底的に検証し、「ファイナルファイトCD」の全貌と、デキぐあいのほどに迫ってみることにしたぞ。



これが初公開「ファイナルファイトCD」のオプション画面だ（だからどーしたなんて言わないでね）。当然のことながら、細かい設定もできるから安心だぞ。

検証1 しゃべるぜっ!! オープニング!

マッドギアの面々は描きおろしだ！





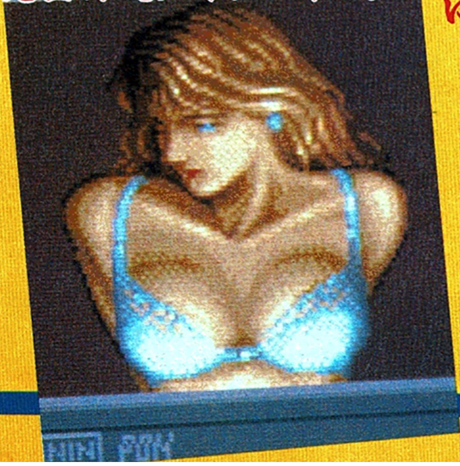
おおっロス暴動か？



俺がマイク・ハガーだ!!



完全再現ダイナマイツ！



ゆ、許さん！



拙者も助太刀いたす



待ってろジェシカ!!



まずは、「ファイナルファイト」でおなじみのオープニングデモのデキについて検証してみることにするぞ。先月でも1点だけ写真を載せてたように、「ファイナルファイトCD」のオープニングデモには、描きおろしの新ビジュアルが加えられているのだが、なんと今回は声優さんの声まで入っているのだ。また、忠実な移植がウリのMEGA-CD版だけあって、ジェシカの艶姿だってバッチリ再現されてるぞ（喜べ諸君／　うひょ）。

※画面は開発中のものなので、今後変更されることもあります。

『BEEP! メガドライブ』1993年2月号掲載

検証2 これがMEGA-CD版の見どころだ!!

ステージ間のデモがある！

アーケード版にあったステージ間のデモシーンも、このMEGA-CD版ではかぎりなく近い状態で再現されている。ステージ１の最初で、ドラム缶を蹴(け)り飛ばすシーンや地下室の扉(とびら)をブチ破るシーンなど、ちゃんとつながりがわかるようになっているのだ。こういった細かい演出の再現もファンには嬉(うれ)しい要素だ。

今回の遊星バージョンは、まだまだできてない部分も多い状態ではあるが、完成版でどこまで再現されているか今から楽しみだぜ。



ゲームスタート直後、並べられたドラム缶を必殺技でブチ壊すシーンもキチンと再現されているのだ。でやあ～。



地下室のドアをパンチで開ける。力強い演出だ。これもアーケード版と同じだぞ。こういった演出もないよりあったほうがいいもんね。



階段もちゃんと上ってくる。この不自然な歩き方もアーケードと同じだ。

敵が4人出現！

画面内に出てくる敵も、MEGA-CD版では公約どおり最大４人まで画面上に登場するのだ。もちろん、途中参加で２人プレイになってもちゃんと４人出たままだし、アンドレなんかのデカキャラがいたって大丈夫だぞ。



２人プレイで遊んでも、出てくる敵キャラの数は変わらないぞ。ちなみにＳＦＣ版は最大３人までしか敵が出なかった。

検証3 ここも再現されてるぜ!!

2P同時だぜ

MEGA-CD版の最大の特徴は、やっぱり主人公キャラ３人がちゃんと選べることと２人同時プレイができることだろう。ＳＦＣ版は２人しか入ってなかったうえに１人でしか遊べなかったことを考えると、数倍嬉しいよね。



MEGA-CD版で初めてできるようになった2P同時プレイ。しかも主人公３人すべてが入っている。ファンでなくとも嬉しいかぎりだ。



ハガー市長とガイのコンビや、コーディーとガイのコンビなど自由自在だ。仲間に当たり判定があるのも、アーケード版と同じだ。

数々の必殺技も

主人公たちの必殺技も、もちろんキチンと再現されている。ハガーのスクリューラリアットやガイの三角跳(と)び蹴(げ)りもバッチリだぞ。

使えば体力は減ってしまうけど、２人でガンガン使えば爽快なこと間違いなしだぜ／



必殺技もキチンとできるようになっている。これはハガーの必殺技とガイの必殺技だ。２人でくるくる回りまくれ。



必殺技とは違うけど、ガイの三角跳び蹴りもちゃんとある。壁にはりついたときのグラフィックも完璧に再現されているぞ。

グラフィックも再現

細かい指摘になるけど、細かいグラフィックも再現されてるのだ。たとえばＳＦＣ版は原子力マークのヤツだけだったザコがMEGA-CD版には龍のマークのヤツも入っている。ここまでやってこそ完全版といえるのだ。

三日月顔のコーディー



ジャブを出しているコーディーはアーケード版同様、三日月顔になるのだ(笑)。それにしてもなんか変な顔だよな。

足の短いコーディー



コーディーの足の短さもアーケード版そのまんま。ドラゴン刺繍のザコもこのとおりちゃんと再現されてる。

ファイナルファイトCD

完成目前.!! 新画面の数々を大公開

セガ／3月26日発売予定／8,800円／ACT／CD-ROM

完成度ゲージ 80% 2人同時プレイあり

ついに公開されたオリジナルモードに加え、最終面まで入ったサンプルも到着。完成目前の「ファイナルファイトCD」速報だ。

完全再現への道のりと現状速報だ!!

提供された今回のサンプルは、アメリカで行なわれた'93 Winter CESに出展されたショーバージョンと、いちおう最終面まで遊べるものである。出展用なので、動きの調整や音声はまだだけど、前回のサンプルより、はるかにバージョンアップされているぞ。キャラなどもほとんどの敵が登場しているし、オープニングにも新ビジュアル(変更あり)が用意された。またその他でも細かい所で修正が見られ、業務用に近づけようという血のにじむような努力がうかがえる。今回はこのサンプルをベースに、前号で検証した部分を含め、現状報告や開発の苦労話、そして新ステージなどを中心に紹介していこう。発売された時に、このページの記事を思い出しながら遊んでみると、君もきっと涙がにじんでくるハズ。開発者達のコダワリをじっくりと読みとってやってくれ.!!



新しく入ったビジュアルシーンだ。突き刺さる！

着々と進む開発状況と苦労話を御披露するぞ!!

セクシー姉妹(?) ポイズン&ロキシー登場





華麗に跳んで



華麗にやられて



脱ぎもします(ウソ)

でもオ〇マなの…

今回新しく紹介する敵は、デブのビルブルや、女性キャラ（オカマだ.!）のポイズンなどだ。デブはこの際ほっておいてグラマーなポイズンとロキシーを紹介するぞ。アーケード版に近いだけあって、SFC版にはなかったキワドいポーズなどもちゃんとあるのだ。

色数のバランスは…



これはRGB出力の画面だけど、ビデオ出力の画面で見たときにアーケードと同じ雰囲気になるように日々努力がされている。

目標は当然完全再現だけど、スペックの問題もあって、完璧とはいかない。その中で大切にしたいのは雰囲気。特に少ない色数でいかに魅せるか？というのに重点がおかれている。ビデオ出力で見たときに見栄えがいいようにと精魂こめてドットを打っているそうだ。

ライフメーターもダイジョーブ



このゲームのライフメーターは、2段階以上はグラデーションで表示されるので、かなりツライ。ボスだけだと思えば気にならない？

ライフメーターも、色数の犠牲になってしまっているが、キャラやオブジェクト（壊せるタイヤやドラム缶）に色数を優先しているため、しかたないといえばしかたない。でもボス以外は気にならないかもしれないね。



こんなに敵が出ても

主人公2人に敵キャラが4人！こんなにいるのに処理落ちナシ！すげー！



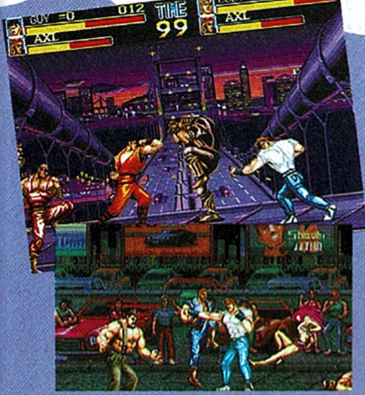
チラツキはほとんどナシ!!

チラツキも全然ない。ここらあたりは心配無用かもしれないぞ。

キャラのチラツキや処理落ちはどうだろうか。これも、重要なポイントで、キャラの数やスプライト（キャラなど）の枚数、それらが横に並ぶ量など、バランスがちょうどよくなるように試行錯誤して調整しているそうだ。キャラは、スプライトの塊になっているので、それに必要な容量もバカにはならないみたい。それらを含めて1アクセスで1ステージをどう収めるか容量と格闘中らしいぞ。ガンバ.!

そして完成した新画面の数々だ!!

ウワサのタイムアタックモードも登場!!



これが初公開のタイムアタック画面だ。画面のほうは、ご覧のとおり３種類が用意されている。１Ｐキャラにあわせて舞台も変わるぞ。効果音も本物のまんまだ。





いちおう終了後に出るリザルト画面がこれ。ただし、キャラのポーズはカプコン描き下ろしのものに変更される予定なのだ。これよりもっとカッコイイぞ。

開発発表当時から言われていた「ファイナルファイトＣＤ」オリジナルのタイムアタックモードだが、今回はついにそのゲーム画面を入手したので、詳しく紹介するぞ。ご覧(らん)のとおりこのモードは、新しく描(か)き起こされた固定画面が舞台となっている。次々と出てくる敵キャラを規定時間内にどんどん倒していき、倒した敵の数を競うというわけだ。もちろん２Ｐ同時プレイも可能で、ライフがなくなったらアウトだ。こいつは画面も派手だし、なかなか熱くなれそうだぞ。やったれ。

ボーナスステージも健在だぞ

お次は、ゲーム中に登場するボーナスステージの画面だ。種類はガソリンスタンドにある日本車を壊(こわ)しまくるものと、工場にある極厚ガラスを割りまくる２つがある。どちらも時間内に粉々(こなごな)にしなければならないぞ。車のほうは「ストII」でもあったものなので、知っている人もいるだろう。あのボーナスステージは、実はこれがはじまりなんだよね。もちろん移植度もバッチリなので、思いっきり壊してやろう。おりゃー！　どうじゃー！





整然と吊されたぶ厚いガラスを拳で打ち砕け。もちろんキックでも可。



車は、転がっている鉄パイプで壊してもいい。とにかく走れなくなるまでブチ壊すのみだ。

完成間近！各ハイライトシーンもこのとおり!!



SLUM

おなじみの下町。マッドギアのたむろする代表的な場所だ。





WEST SIDE

下町よりも人気があるのがこのウエストサイド。汚い酒場や怪しげな繁華街がある地域だ。放置車が名物。





INDUSTRIAL AREA

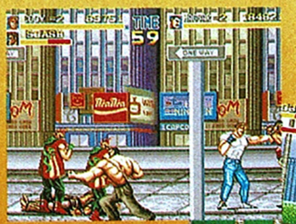
初登場の工業地域だ。金網の下から吹き出る炎はまだ入ってないけど、雰囲気は同じだよ。





BAY AREA

横浜とは全く違って荒廃しきっているベイエリア。長いステージのひとつだ。





UP TOWN

数々の企業ビルが軒を連ねるアップタウンは、最後のステージ。待っててジェシカちゃ～ん。

ステージは全部で６つ。先月までは２ステージまでをダイジェストで紹介してきたけど、今月はそれも含め、その他のステージをちょっとだけ紹介していくぞ。特筆すべきは、家庭用で初めて再現されたインダストリアルエリアのステージだろう。忠実かつ完璧な移植に酔(よ)え！